

(別紙1)

(別紙様式第1)

民事事件記録等閲覧・謄写票(原符)		申請区分	閲覧・ <u>謄写</u> ・複製	
受付年月日	平成〇〇年〇月〇日	ちょう用印紙額	円	
事件番号	平成〇〇年(ワ)第〇〇〇〇号	事件記録等返還月日・事件担当書記官受領印	〇・〇 ① ※	<input type="checkbox"/> 担書 <input type="checkbox"/> 却下 <input type="checkbox"/> 拒絶
申請人氏名	〇 〇 〇 〇	事件担当書記官	① ※	
原符番号	第 〇〇〇〇 号	票受領印	(〇 部 〇 係)	

※ 印影のマスクング処理の方法については、印影に斜線を引く方法ではなく、印影全体をマスクングする方法による(可能な限り印影の形状に沿った形でマスクする。)

(別紙2)

(別紙様式第2)

刑 事 事 件 記 録 等 閲 覧 ・ 謄 写 票 (原 符)		申 請 区 分	記 録 ・ 証 拠 物		
受 付 年 月 日	平成〇〇年〇月〇日		閲 覧 ・ 謄 写		
		ち ょう 用 印 紙 額	円		
事 件 番 号	平成〇〇年(わ) 第 〇〇〇〇 号	事 件 記 録 等 返 還 月 日 ・ 事 件 担 当 書 記 官 受 領 印	〇・〇	.	.
被 告 人 等 氏 名	〇 〇 〇 〇		印 ※2		
申 請 人 氏 名	弁 護 士 ※1	事 件 担 当 書 記 官	印 ※2	□ 担 書	
原 符 番 号	第 〇〇〇〇 号	票 受 領 印	(〇 部 〇 係)	□ 却 下 □ 拒 絶	

※1 申請人が個人の場合、マスキングをする。

※2 印影のマスキング処理の方法については、印影に斜線を引く方法ではなく、印影全体をマスキングする方法による(可能な限り印影の形状に沿った形でマスクする。)

(別紙3)

民事・行政第一審事件簿マスキング例

平成 ○○ 年 (ワ)

(表面)

事 件 番 号		927		928	
受 付	受 付 区 分	○ ・ ○ ・ ○	移	○ ・ ○ ・ ○	移
原 告		○ ○ ○ ○		○ ○ ○ ○	
被 告		○ ○ ○ ○		○ ○ ○ ○	
事 件 名		建物明渡		損害賠償	
訴訟の目的の価額		2,345,678 円		3,456,789 円	
ち ょ う 用 印 紙		17,000 円		23,000 円	
関 連 事 件		当庁 ○○ (ワ) 1240	基 ④ 異	当庁 ()	基 反 異
終 局		○ ・ ○ ・ ○		○ ・ ○ ・ ○	
結 果		請求認容		和 解	
控訴提起・異議申立て		控異 原 ④ 被 ○ ・ ○ ・ ○		控異 原 被	
控訴提起	事 件 番 号	○○ (ワネ) 77			
	終 局 果	事件送付 却下決定 取下げ		事件送付 却下決定 取下げ	
記 録 送 付		1 冊 ○ ・ ○ ・ ○		冊	
控訴審	終 局 果	○ ・ ○ ・ ○ 控訴棄却			
	上告提起・ 受理申立て	終 局 果	提 ○ ・ ○ ・ ○ 受 ○ ・ ○ ・ ○	提 . . 受 . .	
上告審	終 局 果	上告 ○ ・ ○ ・ ○	上告棄却	上告 . .	
		受理 ○ ・ ○ ・ ○	不受理	受理 . .	
上訴審から記録返還		1 冊 ○ ・ ○ ・ ○		冊	
保 存	完 結		○ ・ ○ ・ ○		○ ・ ○ ・ ○
	終 期		○ ・ ○ ・ ○		○ ・ ○ ・ ○
	記 録 廃 棄				
備 考		利害関係人 株式会社△△			
担当部	(添付郵便切手) 受 領 印	1	(7000 円) ④ ※1	2	(7000 円) ④ ※1

(ハ・ワ・手ハ・手ワ・少コ・少エ・人・人ナ・行ウ・行ケ・家ホ・家ヘ)

民事・行政第一審事件簿

※1 印影のマスキング処理の方法については、印影に斜線を引く方法ではなく、印影全体をマスキングする方法による
(可能な限り印影の形状に沿った形でマスクする。)

(別紙3)

民事・行政第一審事件簿マスキング例

平成 ○○ 年 (ワ)

(裏面)

924		925		926	
○・○・○	移	○・○・○	移	○・○・○	移
株式会社○○商事		○○○○		独立行政法人○○○○ ※2	
△△株式会社		国 ※2		○○○○	
約束手形金 (手形異議)		損害賠償		建物明渡	
4,567,890 円		5,678,901 円		678,901 円	
28,000 円		34,000 円		7,000 円	
当庁 ○○ (手ワ) 125	基反異	当庁 ()	基反異	当庁 ()	基反異
○・○・○		.		.	
請求棄却					
控異	原被 ○・○・○	控異	原被 .	控異	原被 .
○○ (ワネ) 88		()		()	
事件送付 却下決定 取下げ		事件送付 却下決定 取下げ		事件送付 却下決定 取下げ	
1 冊 ○・○・○		冊 .		冊	
○・○・○				.	
控訴棄却					
提	○・○・○	提	.	提	.
受	.	受	.	受	.
上告	○・○・○ 上告棄却	上告	.	上告	.
受理	.	受理	.	受理	.
1 冊 ○・○・○		冊 .		冊 .	
○・○・○		.		.	
○・○・○		.		.	
3	(7000 円) 印 ※1		(7000 円) 印 ※1		(7000 円) 印 ※1

民事・行政第一審事件簿

(・ワ・手ハ・手ワ・少コ・少エ・人・人ナ・行ウ・行ケ・家ホ・家ヘ)

※1 印影のマスキング処理の方法については、印影に斜線を引く方法ではなく、印影全体をマスキングする方法による
(可能な限り印影の形状に沿った形でマスクする。)

※2 訴訟当事者である国の機関等の名称は、公にすることにより、国の機関等の事務又は事業の適正な遂行に支障を及ぼすおそれがある情報(法5条6号)とは考えられないので、原則として開示する。

(別紙4)
民事・行政抗告事件簿マスキング例

平成 ○○ 年 (ラ)

(表面)

民事・行政抗告事件簿

事 件 番 号		101		102	
受 付	受 付 区 分	1 冊 ○ ・ ○ ・ ○	移	2 冊 ○ ・ ○ ・ ○	移
抗 告 人		○ ○ ○ ○		株式会社○○	
相手方・関係人		○ ○ ○ ○			
事 件 名		訴訟救助申立却下決定 に対する抗告		売却許可決定に対する 執行抗告	
原 審	裁 判 所	○○ 地 ○○ 家	支 出 簡	○○ 地 家	支 出 簡
	事 件 番 号	○○ (家口) 33		○○ (ケ) 450	
	終 結 局 果	○ ・ ○ ・ ○		○ ・ ○ ・ ○	
	抗 告 の 提 起	○ ・ ○ ・ ○ ○○ (家二) 44		○ ・ ○ ・ ○ ○○ (ソラ) 117	
終 局		○ ・ ○ ・ ○		○ ・ ○ ・ ○	
結 果		原決定取消し・自判 (救助付与)		抗告棄却	
抗 告 の 提 起 等		特 再	抗 相	特 再	抗 相
		許	抗 相	許	抗 相
事 件 番 号				○○ (ラク) 1414	
抗 告 提 起	終 結 局 果	事件送付 却下決定 却下命令 取下げ		事件送付 却下決定 却下命令 取下げ	
	事 件 番 号			○○ (ラ許) 826	
許 可 抗 告	終 結 局 果	事件送付 不許可決定 却下命令 取下げ		事件送付 不許可決定 却下命令 取下げ	
	事 件 番 号			○○ (ラ許) 826	
記 録 送 付		2 冊 ○ ・ ○ ・ ○		2 冊 ○ ・ ○ ・ ○	
抗 告 審	終 結 局 果	特 再	・ ・	特 再	○ ・ ○ ・ ○ 棄却
		許	・ ・	許	・ ・
備 考		基本事件○○(家木) 55			
担当部	(添付郵便切手) 受 領 印	1	(5000 円) 印 ※	2	(3000 円) 印 ※

(ソ・ラ・行ス)

※ 印影のマスキング処理の方法については、印影に斜線を引く方法ではなく、印影全体をマスキングする方法による
(可能な限り印影の形状に沿った形でマスクする。)

(別紙4)
民事・行政抗告事件簿マスキング例

平成 ○○ 年 (ラ)

(裏面)

98			99			100		
1 冊	○・○・○	移	2 冊	○・○・○	移	1 冊	○・○・○	移
株式会社○○ ○○○○			有限会社○○			株式会社○○ ○○○○		
○○社団法人			○○株式会社			○○○○		
移送決定申立却下 に対する抗告			訴訟費用額確定処分に対する 異議申立却下決定			債権仮差押命令申立却下決定 に対する抗告		
○○	④ 家	支出 簡	○○	④ 家	支出 簡	○○	④ 家	支出 簡
○○ (モ) 422			○○ (モ) 430			○○ (ヲ) 27		
○・○・○			○・○・○			○・○・○		
○○	○・○・○ (ソラ) 66		○○	○・○・○ (ソラ) 860		○○	○・○・○ (ソラ) 54	
○・○・○			○・○・○			○・○・○		
抗告棄却			抗告棄却			抗告棄却		
特再	④ 相	○・○・○	特再	④ 相	○・○・○	特再	抗 相	
許	④ 相	○・○・○	許	抗 相		許	抗 相	
○○ (ラク) 77								
事件送付 却下決定 却下命令 取下げ			事件送付 却下決定 却下命令 取下げ			事件送付 却下決定 却下命令 取下げ		
○○ (ラ許) 88			○○ (ラ許) 1290					
○・○・○			○・○・○					
事件送付 不許可決定 却下命令 取下げ			事件送付 不許可決定 却下命令 取下げ			事件送付 不許可決定 却下命令 取下げ		
2 冊 ○・○・○			3 冊 ○・○・○			2 冊 ○・○・○		
特再	○・○・○	棄却	特再	○・○・○	棄却	特再	・	・
許	・	・	許	・	・	許	・	・
基本事件平成○○年(ワ) 201 号			基本事件平成○○年(ワ) 1770 号					
3	(2400 円) ④ ※		4	(1050 円) ④ ※		5	(4500 円) ④ ※	

民事・行政抗告事件簿

(ソ・ラ・行ス)

※ 印影のマスキング処理の方法については、印影に斜線を引く方法ではなく、印影全体をマスキングする方法による
(可能な限り印影の形状に沿った形でマスクする。)

(別紙5)
非訟・民事雑・執行雑・行政雑等事件簿マスキング例

平成 ○○ 年 (モ)

(表面)

非訟・民事雑・執行雑・行政雑等事件簿

事 件 番 号		1015		1016		1017	
受 付	受 付 分 区	○ ・ ○ ・ ○	移	○ ・ ○ ・ ○	移	○ ・ ○ ・ ○	移
申 立 人		○○信用組合		有限会社○○ ○○○○		○○○○	
被 申 立 人		○○○○		○○株式会社		○○○○	
事 件 名		担保取消決定の申立て		手数料還付の申立て		移送の申立て	
ち ょ う 用 印 紙		— 円		— 円		— 円	
基 本 事 件		○○(ヨ) 38 合		○○(ワ) 39 合		○○(ワ) 40 合	
終 局		○ ・ ○ ・ ○		○ ・ ○ ・ ○		○ ・ ○ ・ ○	
結 果		認容決定		認容決定		却 下	
抗告提起・異議申立て		申		申 被		申 被 ○ ・ ○ ・ ○	
抗 告 提 起	事 件 番 号					○○(ソラ) 410	
	終 局	.		.		○ ・ ○ ・ ○	
	結 果	事件送付 却下決定 取下げ		事件送付 却下決定 取下げ		事件送付 却下決定 取下げ	
記 録 送 付		冊 . .		冊 . .		1 冊 ○ ・ ○ ・ ○	
抗 告 審	終 局					○ ・ ○ ・ ○	
	結 果					抗告棄却	
上訴審から記録返還		冊		冊		2 冊 ○ ・ ○ ・ ○	
保 存	完 結						
	終 期						
	記 録 廃 棄						
備 考							
担当部	(添付郵便切手) 受 領 印	1	(160 円) 印 ※	2	(— 円) 印 ※	3	(— 円) 印 ※

(チ・ヒ・借・借チ・シ・配チ・仲・サ・モ・ウ・人モ・人ウ・ヲ・行ク・行タ・る・む・て・家ロ)

※ 印影のマスキング処理の方法については、印影に斜線を引く方法ではなく、印影全体をマスキングする方法による
(可能な限り印影の形状に沿った形でマスクする。)

(別紙5)
非訟・民事雑・執行雑・行政雑等事件簿マスキング例

平成 〇〇 年 (七)

(裏面)

1011		1012		1013		1014	
○ ・ ○ ・ ○	移	○ ・ ○ ・ ○	移	○ ・ ○ ・ ○	移	○ ・ ○ ・ ○	移
○○株式会社		○ ○ ○ ○		○ ○ ○ ○		○ ○ ○ ○	
有限会社○○		○ ○ ○ ○		○ ○ ○ ○		—	
移送の申立て		担保取消決定の申立て		文書提出命令申立て		移送の申立て	
— 円		— 円		— 円		— 円	
○○(ワ) 65 合		○○(ヨ) 74 合		○○(ワ) 83 合		○○(ワ) 92 合	
○ ・ ○ ・ ○		○ ・ ○ ・ ○		○ ・ ○ ・ ○		○ ・ ○ ・ ○	
認容決定		認容決定		認容決定		却 下	
申 被 ○ ・ ○ ・ ○		申		申 被		申 被 ○ ・ ○ ・ ○	
○○(ソラ) 188						○○(ソラ) 277	
○ ・ ○ ・ ○		・ ・		・ ・		○ ・ ○ ・ ○	
事件送付 却下決定 取下げ		事件送付 却下決定 取下げ		事件送付 却下決定 取下げ		事件送付 却下決定 取下げ	
1 冊 ○ ・ ○ ・ ○		冊 ・ ・		冊 ・ ・		1 冊 ○ ・ ○ ・ ○	
○ ・ ○ ・ ○ 抗告棄却						○ ・ ○ ・ ○ 抗告棄却	
2 冊 ○ ・ ○ ・ ○		冊		冊		2 冊 ○ ・ ○ ・ ○	
1	(160 円) 印 ※	1	(160 円) 印 ※	2	(— 円) 印 ※	3	(— 円) 印 ※

(チ・ヒ・借・借チ・シ・配チ・仲・サ・モ・ウ・人モ・人ウ・ヲ・行ク・行タ・る・む・て・家口

非訟・民事雜・執行雜・行政雜等事件簿

※ 印影のマスキング処理の方法については、印影に斜線を引く方法ではなく、印影全体をマスキングする方法による（可能な限り印影の形状に沿った形でマスクする。）。

(別紙6)
刑事公判請求事件簿マスキング例

平成 ○○ 年 (わ)

(表面)

裏面記載省略

事 件 番 号		421		422	
受 付	受 付 区 分	○・○・○	<input checked="" type="checkbox"/> 正 不 強 移	○・○・○	<input checked="" type="checkbox"/> 正 不 強 移
被 告 人		㊦ 別 求 保 宅 放 刑 ○○○○		勾 別 求 保 宅 放 刑 ○○株式会社	
事 件 名		覚せい剤取締法違反		廃棄物の処理及び 清掃に関する法律違反	
終 局		○・○・○		○・○・○	
結 果 ※1		懲役2年 未決 100日算入		罰金200万円	
控訴申立て	取下げ	<input checked="" type="checkbox"/> 検 査 ○・○・○	・	<input checked="" type="checkbox"/> 検 査 ○・○・○	・
記 録 送 付		2 冊 ○・○・○		5 冊 ○・○・○	
控 訴 審	終 局	○・○・○		○・○・○	
	結 果 ※1	控訴棄却(判決) 当審訴訟費用全部負担		控訴棄却(判決)	
	上告申立て	<input checked="" type="checkbox"/> 検 査 ○・○・○	・	<input checked="" type="checkbox"/> 検 査 ○・○・○	・
上 告 審	終 局	○・○・○		○・○・○	
	結 果 ※1	上告棄却決定 当審訴訟費用全部負担		上告棄却決定	
確 定 事 由		期間経過 上訴の 放棄 取下げ		期間経過 上訴の 放棄 取下げ	
確 定		○・○・○		○・○・○	
上訴審からの記録返還		3 冊 ○・○・○		7 冊 ○・○・○	
検察庁に記録送付		3 冊 ○・○・○		7 冊 ○・○・○	
備 考		平成○年○月○日 上告棄却決定に対する異議申立 平成○年○月○日 異議申立棄却決定 逮捕状、勾留状受領 勾留満了○年○月○日		平成○年(わ) 513 号を併合 弁選受領	
担 当 部	受 領 印	1	<input checked="" type="checkbox"/> ※2	2	<input checked="" type="checkbox"/> ※2

刑事公判請求事件簿

(ろ・わ・の)

※1 マスキングが複数行にわたる場合は、被告人に有罪認定されたと推定されるため、枠全体をマスキングする。

※2 印影のマスキング処理の方法については、印影に斜線を引く方法ではなく、印影全体をマスキングする方法による(可能な限り印影の形状に沿った形でマスクする。)

(別紙7)
刑事抗告等事件簿マスキング例

平成 ○○ 年 (く)

(表面)
裏面記載省略

刑事抗告等事件簿

事 件 番 号		794		795		796	
受 付		○・○・○		○・○・○		○・○・○	
申 立 人 等		検被弁付法少 ○ ○ ○ ○		検被弁付法少 ○ ○ ○ ○		検被弁付法少 ○ ○ ○ ○	
事 件 名		保釈許可決定に 対する抗告の申立て		保釈請求却下決定に 対する抗告の申立て		第一種少年院送致決定 に対する抗告の申立て	
被 告 人 等		○ ○ ○ ○		○ ○ ○ ○			
原 審	裁 判 所	地 ○ ○ 家 ○ ○ 支 簡		地 ○ ○ 家 支 簡		地 ○ ○ 家 支 簡	
	事 件 番 号	○○(む) 1192		○○(む) 894		○○(少) 710	
	終 局 結 果	○・○・○ 決 定 ○・○・○ 申 立 ○・○・○ 意 見		○・○・○ 決 定 ○・○・○ 申 立 ○・○・○ 意 見		○・○・○ 決 定 ○・○・○ 申 立 ○・○・○ 意 見	
終 局		○・○・○		○・○・○		○・○・○	
結 果		棄 却		棄 却		棄 却	
特別抗告申立て				○・○・○			
記 録 送 付				○・○・○			
特 別 抗 告 等	終 局 結 果			○・○・○ 棄 却			
上訴審から記録返還				2 冊 ○・○・○			
原審に記録返還		1 冊 ○・○・○		2 冊 ○・○・○		3 冊 ○・○・○	
備 考		平成○年○月○日 検察官に通知		平成○年○月○日 検察官に通知			
担当部	受領印	6	印 ※	7	印 ※	8	印 ※

(く・け・秩ほ・秩へ)

※ 印影のマスキング処理の方法については、印影に斜線を引く方法ではなく、印影全体をマスキングする方法による
(可能な限り印影の形状に沿った形でマスクする。)

(別紙8)
刑事等雑事件簿マスキング例

平成 ○○ 年 (む)

(表面)

裏面記載省略

事 件 番 号		32		33		34	
受 付		○・○・○		○・○・○		○・○・○	
請 求 者 等		検 被 弁 ○ ○ ○ ○		検 被 弁 ○ ○ ○ ○		検 被 弁 ○ ○ ○ ○	
事 件 名		保釈請求		保釈請求		保釈許可決定	
基本 事件	事 件 番 号	○○(わ) 61		○○(わ) 125		○○(わ) 89	
	被 告 人 少 年 者 被 疑 者 対 象 者	○ ○ ○ ○		○ ○ ○ ○		○ ○ ○ ○	
終 局		○・○・○		○・○・○		○・○・○	
結 果		許可決定		保釈請求却下		棄 却	
不 服 申 立 て		抗 異 準	検 被 弁	抗 異 準	検 被 弁 ○・○・○	抗 異 準	検 被 弁
記 録 送 付				○・○・○			
上 訴 審	終 局 結 果			○・○・○ 棄 却			
上訴審からの記録返還				○・○・○			
検察庁等に記録送付							
保 存	完 結						
	終 期						
	記録廃棄						
備 考		身柄引受書、誓約書、 平成○年○月○日 保証金150万円		平成○年○月○日 高裁より記録受領 (第一審記録第三分類編てつ)			
担当部	受領印	1	印 ※	2	印 ※	3	印 ※

(ぬ・こ・な・え・や・る・む・て・少口・少ホ・医に)

刑事等雑事件簿

※ 印影のマスキング処理の方法については、印影に斜線を引く方法ではなく、印影全体をマスキングする方法による
(可能な限り印影の形状に沿った形でマスクする。)

(別紙9)

平成○年(つ)第7号(付審判請求)

平成22年11月22日

○○地方裁判所刑事第○部 御中

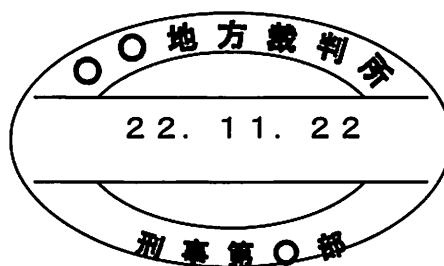
○○地方検察庁

検察事務官 ○ ○ ○ ○ 印

※

受 領 書

書類の名称	不起訴裁定書
罪名	公務員職権濫用
被疑者名	○ ○ ○ ○ ほか 8 名
冊数	1 冊



※ 印影のマスキング処理の方法については、印影に斜線を引く方法ではなく、印影全体をマスキングする方法による
(可能な限り印影の形状に沿った形でマスクする。)

(別紙 10)

平成○年(つ)第7号(付審判請求)

平成22年11月22日

○○地方検察庁 御中

捜査記録等返還書

書類の名称 不起訴裁定書
罪名 公務員職権濫用
被疑者名 ○ ○ ○ ○ ほか 8 名
冊数 1 冊

○○地方裁判所刑事第○部

裁判所書記官 ○ ○ ○ ○ 印

書記官

印

上記記録の返還を受けました。

平成○年○月○日

○○地方検察庁

検察事務官 ○ ○ ○ ○ 印

※

※ 印影のマスキング処理の方法については、印影に斜線を引く方法ではなく、印影全体をマスキングする方法による
(可能な限り印影の形状に沿った形でマスクする。)

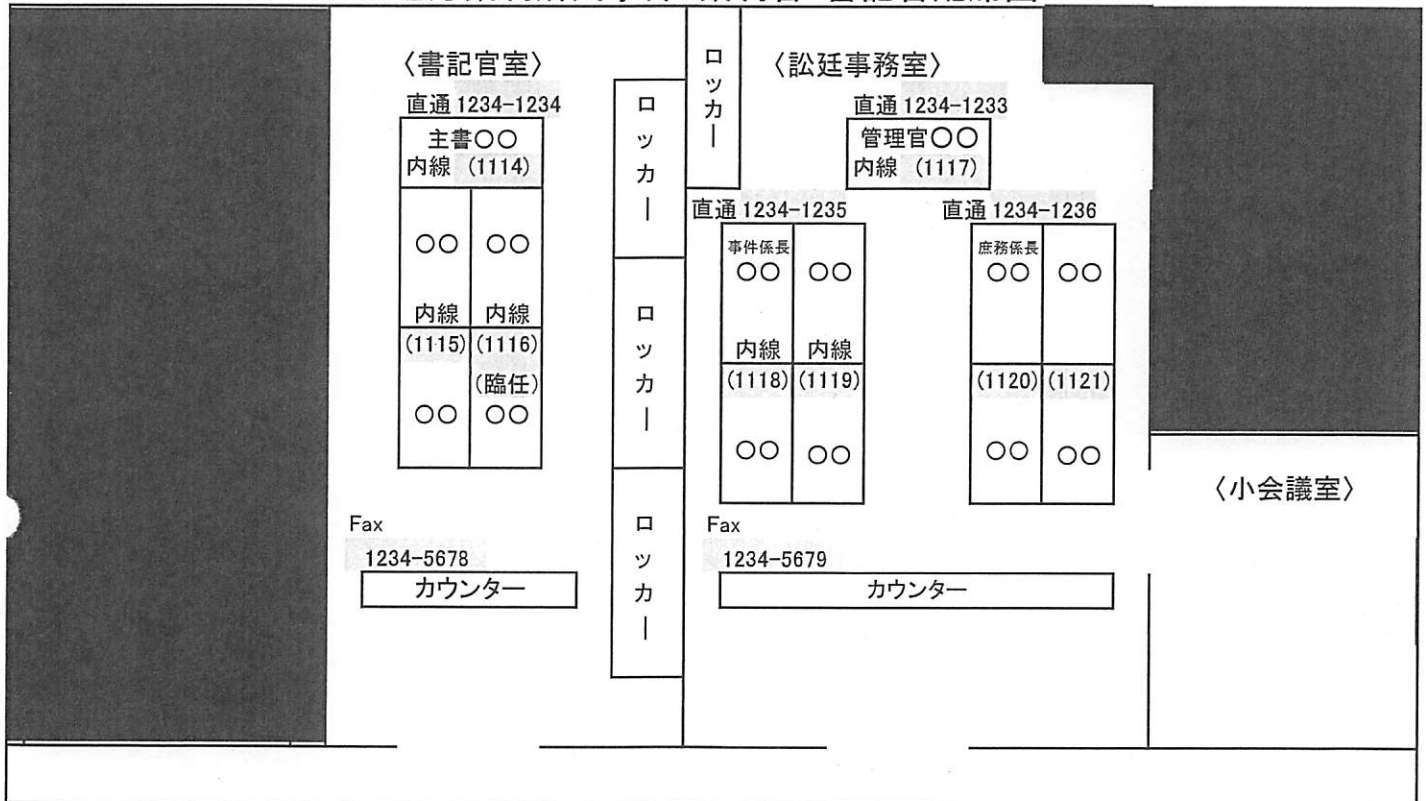
(別紙11)

第●号法廷(●階)開廷表

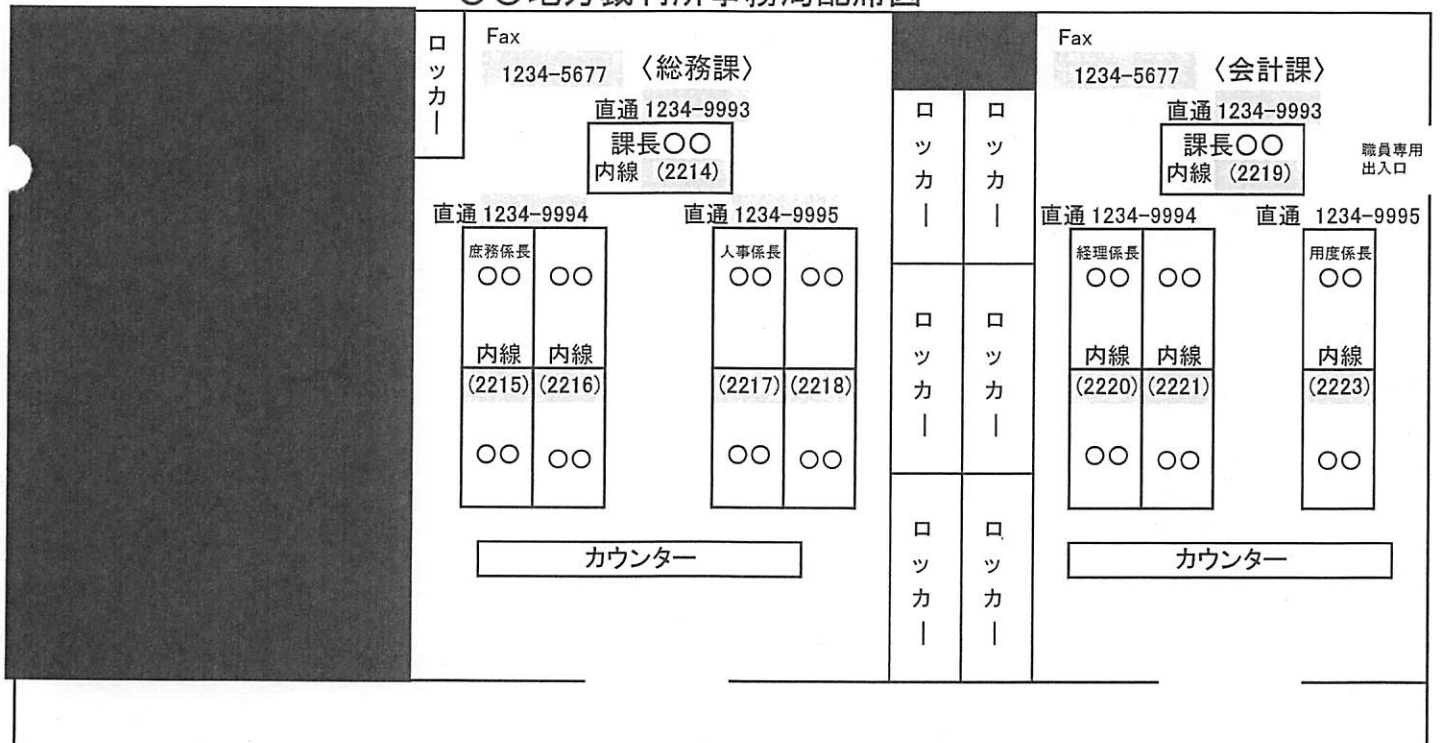
平成○○年○○月○○日 ○曜日

開始／終了 ／予定	事件番号／事件名	当事者	代理人	担当
10:00 10:15 第1回弁論	平成28年(ワ)第××号 不当利得返還請求事件	○○ ○○ ○○ ○○ 外	隼 三郎 ※ 弁護士	民事部△係 裁判官 ○○○○ 書記官 ○ ○○
10:00 10:15 弁論	平成28年(ワ)第×号 売買代金等請求事件	株式会社△△△ 株式会社××× 外	和光 太郎 ※ 支配人	民事部△係 裁判官 ○○○○ 書記官 ○ ○○
10:30 11:00 弁論	平成27年(ワ)第××号 建物明渡請求事件	独立行政法人◇◇◇◇ ○○ ○○		民事部△係 裁判官 ○○○○ 書記官 ○ ○○
11:00 11:30 弁論	平成27年(ワ)第××号 損害賠償請求事件	○○ ○○ 国	霞関 五郎 ※ 指定代理人	民事部△係 裁判官 ○○○○ 書記官 ○ ○○
13:15 13:30 弁論	平成27年(ワ)第××号 売買代金請求事件	破産者○○○破産管財 人○○○○ 株式会社▽▽▽		民事部△係 裁判官 ○○○○ 書記官 ○ ○○

〇〇地方裁判所民事部・裁判官・書記官配席図



〇〇地方裁判所事務局配席図



〇〇〇〇裁判所職員配置表

代表 01-9999-1111

(平成〇〇年〇〇月〇〇日現在)

所長 〇 〇 〇 〇		DI 1235 内線 1234	
部・開廷等	裁判官	内線	書記官等
第1部	総 〇 〇 〇 〇	4001	主書 〇 〇 〇 〇
	〇 〇 〇 〇	4002	書 〇 〇 〇 〇
	〇 〇 〇 〇	4003	事 〇 〇 〇 〇
DI 1236	(〇〇〇〇)	留学中	書 〇 〇 〇 〇
fax 8888-1234			
第2部	総 〇 〇 〇 〇	4011	主書 〇 〇 〇 〇
	〇 〇 〇 〇	4012	書 〇 〇 〇 〇
	〇 〇 〇 〇	4013	書 〇 〇 〇 〇
DI 1237	〇 〇 〇 〇	4014	事 〇 〇 〇 〇
fax 8888-1235			
第3部	総 〇	【氏名】【官職】【総研入所中の表示】【セクハラ相談員】 個人識別情報であるが、公表慣行があるので開示	
	〇		
	〇	4024	事 〇 〇 〇 〇
DI 1238	〇 〇 〇 〇	4025	事 〇 〇 〇 〇
fax 8888-1236	〇 〇 〇 〇		4030
第4部	総 〇 〇 〇 〇	4031	主書 〇 〇 〇 〇
			〇 〇 〇 〇
			4036
DI 1239			4037
fax 8888-1237			
第5部	総 〇 〇 〇 〇	4042	書 〇 〇 〇 〇
	〇 〇 〇 〇	4043	書 〇 〇 〇 〇
DI 1240	〇 〇 〇 〇	4044	事 〇 〇 〇 〇
fax 8888-1238			4048

民事訟廷		fax 8888-0123	
首席書記官	〇 〇 〇 〇	DI 2109	内線 2236
次席書記官	〇 〇 〇 〇	DI 2110	内線 2237
次席書記官	〇 〇 〇 〇	DI 2111	内線 2238
訟廷管理官	〇 〇 〇 〇	DI 2112	内線 2239
訟廷副管理官	〇 〇 〇 〇		
(セクハラ相談員)			
部署	書記官等	内線	
庶務係	係長 〇 〇 〇 〇	2221	
DI 2210	書 〇 〇 〇 〇	2222	
	調 〇 〇 〇 〇	2223	
事件係	係長 〇 〇 〇 〇	2224	
DI 2211	書 〇 〇 〇 〇	2225	
	書 〇 〇 〇 〇	2226	
	書 〇 〇 〇 〇	2227	
		書 〇 〇 〇 〇	2230
		書 〇 〇 〇 〇	2231
		書 〇 〇 〇 〇	2232
		調 〇 〇 〇 〇	2233
		事 〇 〇 〇 〇	2234

【公表していない電話番号、内線番号、FAX番号】
→ 個人識別情報・事務支障情報に該当し、不開示

総研入所者

〇〇〇〇
〇〇〇〇
〇〇〇〇

→ 個人識別情報であり、法5条1号ただし書イ、ロ、ハのいずれにも該当せず、不開示

「ダイヤルイン（DI）」の数字は、01-9999- [〇〇〇〇] の [] 内を示す

※【公表している電話番号、内線番号、FAX番号】
個人識別情報であっても、公表慣行があるので開示。
事務支障情報にも該当しない。

※マスキング例であり、特定の部署の欄に記載することを推奨するものではない。

(別紙 1 4)

〇〇〇第〇〇〇号
平成〇〇年〇〇月〇〇日

〇 〇 〇 〇 様

〇〇裁判所長（長官） 〇 〇 〇 〇

司法行政文書の開示についての通知書

平成〇〇年〇〇月〇〇日付け（同月〇〇日受付）で申出のありました司法行政文書の開示については、下記 1 の内容を下記 3 の方法で情報提供することとしましたので通知します。

記

1 提供する司法行政文書の情報

職員録（平成〇〇年用）抜粋（片面で〇枚）

2 開示しないこととした部分とその理由

1 の情報には、個人識別情報（住所及び電話番号）及び公にすると事務の適正な遂行に支障を及ぼすおそれがある情報（電話番号）が記載されており、これらの情報は、行政機関情報公開法第 5 条第 1 号及び第 6 号に定める不開示情報に相当することから、これらの情報が記載されている部分を開示しないこととした。

3 提供の実施方法等

(1) 実施の方法

1 の各情報については、閲覧及び謄写ができます。

(2) 閲覧の場所

〇〇裁判所事務局総務課

(3) 提供実施の期間

平成〇〇年〇〇月〇〇日から同年〇〇月〇〇日まで（土，日，祝日を除く。）の午前〇時から午後〇時まで（午後零時１５分から午後１時までを除く。）

ただし，謄写する場合の謄写室利用時間は午後〇時〇〇分まで

担当課 総務課 電話〇〇（〇〇〇〇）〇〇〇〇（直通）

〇〇地方裁判所

〒111-2222 〇〇市〇〇3-4-5
012-345-6789 代表
345-9876 所長室
345-6789 局長室

所長判事	〇	〇	〇	〇
〒111-1111 〇〇市〇〇町1-1-1	011-111-1111			
判事	〇	〇	〇	〇
〒111-2222 〇〇市〇〇3-4-5	012-345-6789			
判事	〇	〇	〇	〇
〒111-2222 〇〇市〇〇3-4-5	012-345-6789			
判事	〇	〇	〇	〇
〒111-2222 〇〇市〇〇3-4-5	012-345-6789			
判事補	〇	〇	〇	〇
〒111-2222 〇〇市〇〇3-4-5	012-345-6789			
判事補	〇	〇	〇	〇
〒111-2222 〇〇市〇〇3-4-5	012-345-6789			
判事補	〇	〇	〇	〇
〒111-2222 〇〇市〇〇3-4-5	012-345-6789			
判事補	〇	〇	〇	〇
〒111-2222 〇〇市〇〇3-4-5	012-345-6789			

民 事 部

民事首席書記官	〇	〇	〇	〇
〒111-2222 〇〇市〇〇3-4-5	012-345-6789			
民事次席書記官	〇	〇	〇	〇
〒111-2222 〇〇市〇〇3-4-5	012-345-6789			
民事訟廷管理官	〇	〇	〇	〇
〒111-2222 〇〇市〇〇3-4-5	012-345-6789			
主任書記官	〇	〇	〇	〇
〒111-2222 〇〇市〇〇3-4-5	012-345-6789			
主任書記官	〇	〇	〇	〇
〒111-2222 〇〇市〇〇3-4-5	012-345-6789			
庶務係長	〇	〇	〇	〇
〒111-2222 〇〇市〇〇3-4-5	012-345-6789			
事件係長兼記録係長	〇	〇	〇	〇
〒111-2222 〇〇市〇〇3-4-5	012-345-6789			
書記官	〇	〇	〇	〇
〒111-2222 〇〇市〇〇3-4-5	012-345-6789			
書記官	〇	〇	〇	〇
〒111-2222 〇〇市〇〇3-4-5	012-345-6789			
書記官	〇	〇	〇	〇
〒111-2222 〇〇市〇〇3-4-5	012-345-6789			
調査員	〇	〇	〇	〇
〒111-2222 〇〇市〇〇3-4-5	012-345-6789			

事務官 〇 〇 〇 〇 ・ 〇 〇 〇 〇
〇 〇 〇 〇

刑 事 部

刑事首席書記官	〇	〇	〇	〇
〒111-2222 〇〇市〇〇3-4-5	012-345-6789			
刑事次席書記官	〇	〇	〇	〇
〒111-2222 〇〇市〇〇3-4-5	012-345-6789			
刑事訟廷管理官	〇	〇	〇	〇
〒111-2222 〇〇市〇〇3-4-5	012-345-6789			
主任書記官	〇	〇	〇	〇
〒111-2222 〇〇市〇〇3-4-5	012-345-6789			
庶務係長	〇	〇	〇	〇
〒111-2222 〇〇市〇〇3-4-5	012-345-6789			
事件係長兼記録係長	〇	〇	〇	〇
〒111-2222 〇〇市〇〇3-4-5	012-345-6789			
書記官	〇	〇	〇	〇
〒111-2222 〇〇市〇〇3-4-5	012-345-6789			
書記官	〇	〇	〇	〇
〒111-2222 〇〇市〇〇3-4-5	012-345-6789			
書記官	〇	〇	〇	〇
〒111-2222 〇〇市〇〇3-4-5	012-345-6789			
調査員	〇	〇	〇	〇
〒111-2222 〇〇市〇〇3-4-5	012-345-6789			
事務官	〇	〇	〇	〇

事 務 局

局 長	〇	〇	〇	〇
〒111-2222 〇〇市〇〇3-4-5	012-345-6789			
次 長	〇	〇	〇	〇
〒111-2222 〇〇市〇〇3-4-5	012-345-6789			
総務課長	〇	〇	〇	〇
〒111-2222 〇〇市〇〇3-4-5	012-345-6789			
会計課長	〇	〇	〇	〇
〒111-2222 〇〇市〇〇3-4-5	012-345-6789			
資料課長	〇	〇	〇	〇
〒111-2222 〇〇市〇〇3-4-5	012-345-6789			
総務課課長補佐	〇	〇	〇	〇
〒111-2222 〇〇市〇〇3-4-5	012-345-6789			
会計課課長補佐	〇	〇	〇	〇
〒111-2222 〇〇市〇〇3-4-5	012-345-6789			
総務課専門職	〇	〇	〇	〇
〒111-2222 〇〇市〇〇3-4-5	012-345-6789			
庶務係長	〇	〇	〇	〇
〒111-2222 〇〇市〇〇3-4-5	012-345-6789			

文書係長

〒111-2222 〇〇市〇〇3-4-5	012-345-6789			
人事第一係長	〇	〇	〇	〇
〒111-2222 〇〇市〇〇3-4-5	012-345-6789			
人事第二係長	〇	〇	〇	〇
〒111-2222 〇〇市〇〇3-4-5	012-345-6789			
総務課課長補佐	〇	〇	〇	〇
〒111-2222 〇〇市〇〇3-4-5	012-345-6789			
会計課課長補佐	〇	〇	〇	〇
〒111-2222 〇〇市〇〇3-4-5	012-345-6789			
管理係長	〇	〇	〇	〇
〒111-2222 〇〇市〇〇3-4-5	012-345-6789			
経理係長	〇	〇	〇	〇
〒111-2222 〇〇市〇〇3-4-5	012-345-6789			
用度係長	〇	〇	〇	〇
〒111-2222 〇〇市〇〇3-4-5	012-345-6789			
共済組合係長	〇	〇	〇	〇
〒111-2222 〇〇市〇〇3-4-5	012-345-6789			
資料係長	〇	〇	〇	〇
〒111-2222 〇〇市〇〇3-4-5	012-345-6789			
総務課主任	〇	〇	〇	〇
〒111-2222 〇〇市〇〇3-4-5	012-345-6789			
会計課主任	〇	〇	〇	〇
〒111-2222 〇〇市〇〇3-4-5	012-345-6789			
会計課主任	〇	〇	〇	〇
〒111-2222 〇〇市〇〇3-4-5	012-345-6789			
会計課主任	〇	〇	〇	〇
〒111-2222 〇〇市〇〇3-4-5	012-345-6789			
事務官	〇	〇	〇	〇
	〇	〇	〇	〇
	〇	〇	〇	〇

〇 〇 支 部

〒122-3333 〇〇市〇〇9-8-7
011-234-5678 代表

支部長判事	〇	〇	〇	〇
〒122-3333 〇〇市〇〇9-8-7	011-234-5678			
庶務課長	〇	〇	〇	〇
〒122-3333 〇〇市〇〇9-8-7	011-234-5678			
主任書記官	〇	〇	〇	〇
〒122-3333 〇〇市〇〇9-8-7	011-234-5678			
書記官	〇	〇	〇	〇
〒122-3333 〇〇市〇〇9-8-7	011-234-5678			

書記官

〒122-3333 〇〇市〇〇9-8-7	011-234-5678			
庶務係長	〇	〇	〇	〇
〒122-3333 〇〇市〇〇9-8-7	011-234-5678			
庶務課主任	〇	〇	〇	〇
〒122-3333 〇〇市〇〇9-8-7	011-234-5678			

〇〇簡易裁判所

〒123-1111 〇〇市〇〇〇1-2-3
013-456-7890 代表

簡裁判事	〇	〇	〇	〇
〒222-2222 〇〇市〇〇町2-2-2	022-222-2222			
庶務課長	〇	〇	〇	〇
〒123-1111 〇〇市〇〇〇1-2-3	013-456-7890			
主任書記官	〇	〇	〇	〇
〒123-1111 〇〇市〇〇〇1-2-3	013-456-7890			
書記官	〇	〇	〇	〇
〒123-1111 〇〇市〇〇〇1-2-3	013-456-7890			
書記官	〇	〇	〇	〇
〒123-1111 〇〇市〇〇〇1-2-3	013-456-7890			
事務官	〇	〇	〇	〇

(別紙16)

平成〇〇年 出 勤 簿

所属庁

氏名

〇〇地方裁判所

○ ○ ○ ○

[illegible]

旅 費 概 算 精 算 請 求 書

第一号様式 (甲)

支出官等 〇〇地方裁判所長 〇 〇 〇 〇 殿					請求者	所属部局課(又は所属団体) 〇〇地方裁判所				官職(又は職業) 裁判所書記官				職務の級 3		氏 名 〇 〇 〇 〇 (印) ※		旅行命令権者印 (印) ※			
概 算 額 円					精 算 額 円				追 給 額 円				返 納 額 円								
					19,360																
年月日	出発地	経路	到着地	宿泊地	鉄 道 賃					船 賃					航空賃	車 賃		日 当		宿泊料	
					路程	運賃	急行料金	特別車両 料金その他	計	路程	運賃	特別船 室料金	その他	計		定額	実費額	日 数	定額	夜 数	定額
〇〇 〇〇 〇〇	〇 〇 〇	鉄道	〇 〇 〇	〇 〇 市	142.1	2,350	1,810		4,160									1	1,700	1	7,800
〇〇 〇〇 〇〇	〇 〇 〇	鉄道	(印)		145.7	2,190	1,810		4,000									1	1,700		
					※ 印影のマスキング処理の方法については、印影に斜線を引く方法ではなく、印影全体をマスキングする方法による(可能な限り 印影の形状に沿った形でマスクする。)																
合 計					287.8	4,540	3,620		8,160									2	3,400	1	7,800
支 度 料		定 額 円	既 給 額 円	差 引 額 円	上記のとおり旅費を請求します。 平成 〇〇 年 〇〇 月 〇〇 日 上記の金額を領収しました。 平成 年 月 日										資金前渡官吏		平成16年(7)第1234号 所在尋問, 検証 直帰				
法第三十九条 の二の旅費					氏 名 受取代理人										印						

旅行 命依 令頼 簿

No. 3

[illegible]

備考 旅行命令等を変更の場合には、朱書きすること。

※ 印影のマスキング処理の方法については、印影に斜線を引く方法ではなく、印影全体をマスキングする方法による（可能な限り印影の形状に沿った形でマスクする。）。

支出負担行為即支出決定決議書

決 議 日 <input checked="" type="checkbox"/> 発議年月日と同日 <input type="checkbox"/>		支出負担行為を確認する 官署支出官 <input type="checkbox"/> 所 長 <input type="checkbox"/> 代行機関事務局長 <input checked="" type="checkbox"/> 代行機関会計課長		支出してよい 官署支出官 <input type="checkbox"/> 所 長 <input checked="" type="checkbox"/> 代行機関事務局長		<input type="checkbox"/> 訂正決議書 通一括	
所 長	局 長	次 長	課 長	補 佐	係 長	係 員	係 員 (入力者)
	印	印	印	印	印	印	印

※

整理番号	発議年月日	確認予定 年月日	年度	負担官 区分	相殺請求番号
0005555	00.00.00	00.00.00	00	00	

所 管	03 裁判所
会 計	00000 一般会計
部 局 等	010 裁判所
項	020 下級裁判所
目	091010 庁費
目 の 細 分	
細 分	自動車維持費 (その他) 修繕料
債 主	00003600 マルマワマワトウシヤ(カ) 〇〇〇自動車 (株)
住 所	〇〇県〇〇市〇〇町1-2-3
金 融	〇〇銀行 〇〇支店
普通預金	口座番号 12345678 金 額 1,234,567円
外貨額	
受 入 年 度 及 受入科目名	
負 担 区 分	01 通常
支出決定区分	01 通常
支 払 方 法	3 振込 支払時期 1 通常
精 算 額	円 最終表示 未精算額 円
分 任 官	
分任官整理番号	

摘 要	* 庁用自動車 (00050001234567) コンビネーションメーター等修理代金
-----	--

局 課	
工 事	
仕 訳 区 分	
勘定科目(借方)	
勘定科目(貸方)	
予 算 事 項	006 裁判運営の充実に必要な経費
主要経費別分類	95 その他の事項経費

発議係 コード	内 訳 種別 件数	関連番号	支払回数	略科目 コード	課税対象 表示	債主別支払実績 出力区分1 出力区分2
02				004911		
支払予定年月日	00.00.00	精算予定年月日				

国庫債務負担行為整理番号		設定年度	
国庫債務事項			
電文番号	00050		

※ 印影のマスキング処理の方法については、印影に斜線を引く方法ではなく、印影全体をマスキングする方法による（可能な限り印影の形状に沿った形でマスクする。）。

鑑定人報酬 請 求 書

〇〇 高等裁判所 御 中 者	請 住 所 〇〇 県 〇〇 市 〇〇 町 1-2-3 (フリガナ) マル マル マル マル (印) ※
	氏 名 〇 〇 〇 〇 (印) ※
平成〇〇年(う)第〇〇〇号被告人〇〇〇〇に対する殺人 被告事件について、 鑑定人報酬を請求します。 平成〇〇年〇〇月〇〇日	
出 頭 年 月 日	出 頭 場 所
平成 年 月 日	
支 給 決 定	
支 給 額 計 ¥500,000円	平成〇〇年〇〇月〇〇日 (印) ※ 係官印
内 金 額	事 由
円 日 当 日 分	
	鉄道賃 自 駅 片 道 キロメートル 車 賃・往復 駅 往 復 分
	宿泊料 泊分
	急行料
500,000	鑑定人報酬
振込先金融機関名	〇〇 銀行・金庫・組合 〇〇 店
預 金 種 別	普通 当座 支 口 座 番 号 〇〇〇〇〇〇
振込年月日	平成 年 月 日 小切手番号 〇
前記の支給額を領収しました。 平成 年 月 日 氏名 (印)	
備 考	

(注) 「支給決定」、「振込年月日」及び「小切手番号」は、裁判所職員が記載する。

通訳人報酬 請 求 書

〇〇 高等裁判所 御 中 者	請 住 所 〇〇 県 〇〇 市 〇〇 町 1-2-3 (フリガナ) マル マル マル マル (印) ※
	氏 名 〇 〇 〇 〇 (印) ※
平成〇〇年(う)第〇〇〇号被告人〇〇〇〇に対する 建築物侵入、窃盗、 出入国管理及び難民認定法違反、窃盗 被告事件について、通訳人報酬を請求 します。 平成〇〇年〇〇月〇〇日	
出 頭 年 月 日	出 頭 場 所
平成 年 月 日	
支 給 決 定	
支 給 額 計 ¥9,000円	平成〇〇年〇〇月〇〇日 (印) ※ 係官印
内 金 額	事 由
円 日 当 日 分	
	鉄道賃 自 駅 片 道 キロメートル 車 賃・往復 駅 往 復 分
	宿泊料 泊分
	急行料
9,000	通訳人報酬
振込先金融機関名	〇〇 銀行・金庫・組合 〇〇 支店
預 金 種 別	普通 当座 支 口 座 番 号 〇〇〇〇〇〇
振込年月日	平成 年 月 日 小切手番号 〇
前記の支給額を領収しました。 平成 年 月 日 氏名 (印)	
備 考	

(注) 「支給決定」、「振込年月日」及び「小切手番号」は、裁判所職員が記載する。

※ 印影のマスキング処理の方法については、印影に斜線を引く方法ではなく、印影全体をマスキングする方法による(可能な限り印影の形状に沿った形でマスクする。)

[illegible]

所長	事務局長	次長	会計課長	課長補佐
(印) ※	(印) ※	(印) ※	(印) ※	(印) ※
開 札 経 過 調 書				
件 名	〇〇〇の製造			
日 時	平成〇〇年〇月〇〇日 (月)		午後 3 時 3 0 分	
場 所	〇〇地方裁判所中会議室			
予定価格 (A)	調査基準価格	落札者の 入札書記載金額 (B)	落札金額 (C)	予定価格 との差額 (A)-(C)
入札書記載金額 との比較金額	調査基準価格の 100/105に 相当する金額			
36,288,000円	21,772,800円	25,100,000円	税1,255,000円	9,933,000円
(34,560,000円)	(20,736,000円)		26,355,000円	
参 加 業 者 名	第 1 回	第 2 回	第 3 回	備 考
(株)〇〇〇〇〇〇	40,312,500円			
(株)〇〇〇〇	25,100,000円			落札
(有)〇〇	33,877,340円			
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div> <p>(開札立会者)</p> <p>(株)〇〇〇〇〇〇 〇〇 〇〇</p> <p>(株)〇〇〇〇 〇〇 〇〇</p> <p>(有)〇〇 〇〇 〇〇</p> <p>会計課課長補佐 〇〇 〇〇</p> <p>会計課用度係長 〇〇 〇〇</p> <p>会計課用度係 〇〇 〇〇</p> </div> <div></div> </div>				
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div>起案 平成〇〇年〇〇月〇〇日 (月)</div> <div>会計課用度係 (印) ※</div> </div>				
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div>落札率 72.63%</div> <div>予定価格調書作成 平成〇〇年〇〇月〇〇日 (水)</div> </div>				
(経理係) (印) ※		(管理係) (印) ※		

※ 印影のマスキング処理の方法については、印影に斜線を引く方法ではなく、印影全体をマスキングする方法による
(可能な限り印影の形状に沿った形でマスクする。)

(別紙23)

名簿 番号	所 管 裁判所名	所管裁判 所コード	氏名	氏 名 ふりがな	生年月日	性 別	住 所	所属裁判所 (1)	所属裁判所 (2)	規則71の 指定裁判所 等	職業等	職 業 分 類	職 業 細 分 類	最終職歴	新任等 任命年月日	指 定 事 件 数	退職時 裁判所等	備考
1	〇〇	aa99	〇〇 〇〇	〇〇〇〇	S.O.O.O	男	〇〇市〇〇1-1-1	〇〇簡	〇〇地	本庁	大学教授(〇〇大学工学部建築学科)	4	ア		H10.8.1	8		
2	〇〇	aa99	〇〇 〇〇	〇〇〇〇	S.O.O.O	女	〇〇市〇〇2-2-2	〇〇簡	〇〇地	本庁	税理士(〇〇会計事務所)	3	イ		H8.10.1	5		
3	〇〇	aa99	〇〇 〇〇	〇〇〇〇	S.O.O.O	女	〇〇市〇〇3-3-3	〇〇簡	〇〇地	本庁	司法書士(〇〇司法書士事務所)	3	才		H12.4.1	12		
4	〇〇	aa99	〇〇 〇〇	〇〇〇〇	S.O.O.O	男	〇〇市〇〇4-4-4	〇〇簡	〇〇地	本庁	無職	16		団体職員(〇〇県信用組合)	H20.4.1			
5	〇〇	aa99	〇〇 〇〇	〇〇〇〇	S.O.O.O	男	〇〇市〇〇5-5-5	〇〇簡	〇〇地	本庁	会社員(脚〇〇〇)	9	ア		H22.4.1			
6	〇〇	aa99	〇〇 〇〇	〇〇〇〇	S.O.O.O	男	〇〇市〇〇6-6-6	〇〇簡	〇〇地	本庁	医療法人理事	8	イ		H22.4.1	5		
7	〇〇	aa99	〇〇 〇〇	〇〇〇〇	S.O.O.O	女	〇〇市〇〇7-7-7	〇〇簡	〇〇地	本庁	歯科医院事務	17			H22.10.1	10		
8	〇〇	aa99	〇〇 〇〇	〇〇〇〇	S.O.O.O	女	〇〇市〇〇8-8-8	〇〇簡	〇〇地	本庁	翻訳家	17			H16.4.1	5		
9	〇〇	aa99	〇〇 〇〇	〇〇〇〇	S.O.O.O	男	〇〇市〇〇9-9-9	〇〇簡	〇〇地	本庁	英語塾経営	17			H12.4.1	12		
10	〇〇	aa99	〇〇 〇〇	〇〇〇〇	S.O.O.O	女	〇〇市〇〇1-10-10	〇〇簡	〇〇地	本庁	香道教室教師	17			H20.4.1	10		
11	〇〇	aa99	〇〇 〇〇	〇〇〇〇	S.O.O.O	男	〇〇市〇〇1-11-11	〇〇簡	〇〇地	本庁	無職	16		公務員(〇〇市役所)	H22.10.1	11		
12	〇〇	aa99	〇〇 〇〇	〇〇〇〇	S.O.O.O	女	〇〇市〇〇1-12-12	〇〇簡	〇〇地	本庁	無職	16		教員(〇〇高等学校)	H22.4.1	7		
13																		
14																		
15																		
16																		
17																		
18																		
19																		
20																		
21																		
22																		
23																		
24																		
25																		
26																		
27																		
28																		
29																		
30																		
31																		
32																		
33																		

記載省略

労働審判員名簿

推薦母体 日本労働組合総連合会

[illegible]

推薦母体 (一社)日本経済団体連合会

[illegible]

(別紙 25)

労働審判員名簿の「(8)職業等」欄、「(12)公職の経験の有無」欄、「(13)勤務先業種」欄及び「(21)再任者」欄における記載内容説明書

標記の欄に記載されている記号の意味は次のとおりである。

1 「(8)職業等」欄

- (1) 下表に従い、任命日現在かつ現実の職業（例えば、派遣社員の場合は派遣先の職業）を記号で記載している。
- (2) 同日現在、無職の者は、本欄には「I」を記載している。
- (3) 労働組合専従者については、在籍専従の場合は在籍している職業の記号を、離職専従の場合は「D」あるいは「E」を記載している。

記号	職業名	備 考
A	会社役員	
B	会社員（正社員）	役員を除く。
C	会社員（正社員以外）	〃
D	団体役員	
E	団体職員（役員除く）	
F	個人事業主	法人格なし
G	国家公務員	
H	地方公務員	
I	無職	
J	その他	

2 「(12)公職の経験の有無」欄

下表に従い、公職の経験の有無を記号で記載している。

記号	公 職 名	備 考
A	労働委員会委員（現）	中央，地方を含む。
B	労働委員会委員（元）	〃
C	調停委員（現）	民事，家事を含む。
D	調停委員（元）	〃
E	司法委員（現）	
F	司法委員（元）	
G	民生委員（現）	
H	民生委員（元）	
I	審議会委員（現）	
J	審議会委員（元）	
K	その他（現）	公職名を備考欄に記載
L	その他（元）	〃
M	経験なし	

3 「(13)勤務先業種」欄

- (1) 下表に従い、勤務先の業種を記号で記載している。
- (2) 無職の者は、退職時のものを記載している。
- (3) 在籍専従者は、在籍している勤務先の業種を記載している。
- (4) 離職専従者、労使の各業種別の団体職員等は、対応する企業等の業種を記載している。

記号	業 種	備 考
A	農業，林業，漁業	
B	鉱業	
C	建設業	
D	製造業	
E	電気，ガス，熱供給，水道業	
F	情報通信業	
G	運輸業	
H	卸売，小売業	
I	金融，保険業	
J	不動産業	
K	飲食店，宿泊業	
L	医療，福祉	
M	教育，学習支援業	
N	サービス業	
O	公務	
P	その他（複数）	複数業種の場合等
Q	その他（その他）	業種を備考欄に記載

4 「(2)再任者」欄

再任者である場合には、「○」を記載している。

(別紙 26)

平成〇〇年(△)第〇〇〇号等

裁判員候補者選定録

被 告 人 氏 名	〇 〇 〇 〇
被 告 事 件 名	殺人
選 定 日 時	平成〇〇年〇〇月〇〇日午前〇〇時〇〇分
選 定 場 所	当裁判所
立 ち 会 っ た 検 察 官	〇 〇 〇 〇
立 ち 会 っ た 弁 護 人	〇 〇 〇 〇
選定すべき裁判員候補者数	〇〇人
選 定 方 法	裁判員候補者名簿管理システムによる
選定された裁判員候補者	別添被選定者名簿のとおり
そ の 他	立ち会った検察官及び弁護士からは、異議などは出されなかった。

平成〇〇年〇〇月〇〇日

〇〇地方裁判所

(選定事務担当者 裁判員調整官 〇 〇 〇 〇



※

※ 印影のマスキング処理の方法については、印影に斜線を引く方法ではなく、印影全体をマスキングする方法による

(可能な限り印影の形状に沿った形でマスクする。))。

被選者名簿

平成〇〇年(△)第〇〇号

[illegible]

* 情報公開（司法行政文書開示）手続に初めて携わる方へ *

◆情報公開（司法行政文書開示）手続とは

開示申出時点（①）において、裁判所が保有する司法行政文書（②）を、あるがままの状態で見せる（③）手続

① 開示対象文書の時的基準

開示対象となるのは、原則として、開示申出時点で保有している文書である（法2条2項柱書参照）。
→6頁総論編4「開示対象文書の時的基準」参照

② 司法行政文書

司法行政文書とは、「裁判所の職員が職務上作成し、又は取得した司法行政事務に関する文書、図画及び電磁的記録であって、裁判所の職員が組織的に用いるものとして、裁判所が保有しているもの」をいう（取扱要綱記第1）。

→1頁総論編1「司法行政文書」参照

③ 開示の方法

原則として、司法行政文書そのものを、あるがままの状態で見せるだけで足りる。
もっとも、司法行政文書そのものよりも、そこに記録された情報を整理し、開示申出の趣旨に沿った情報の形にして提供の方が、開示申出人にとっても有用で、その目的に沿った内容となる場合には、「開示に代わる情報の提供」を行うこともできる（取扱要綱記第10の2）。

→30頁総論編12「開示に代わる情報の提供と便宜供与としての情報提供」参照

◆主な不開示情報（マスキングを要する情報）（取扱要綱記第2の2）

① 個人識別情報（法5条1号参照）

具体例：個人の氏名、生年月日

→10頁総論編6「法5条1号の不開示情報について」参照

② 法人等の利益侵害情報（法5条2号イ参照）、事務支障情報（法5条6号参照）

具体例：法人等の印影（2号イ）、裁判所内のメーリングリストのアドレス（6号）、入札経過調書や開札経過調書中の「予定価格」（6号ロ）

→17頁総論編7「法5条2号から6号までの不開示情報について」参照

◆グローマー拒否（存否応答拒否）とは

開示の申出があった司法行政文書が存在しているか否かを答えるだけで不開示情報を開示することとなるときは、当該司法行政文書の存否を明らかにしないで、開示しないことができる（取扱要綱記第5、法8条参照）。

具体例：「私が被告となっている民事事件に関して作成された司法行政文書の開示を求める。」との申出への対応

（※不開示である旨を回答するだけで、申出人の個人識別情報を開示することとなるため。）

→20頁総論編8「グローマー拒否」参照

※ 保有個人情報開示手続であれば、申出人本人に係る情報を開示できる場合があるため、申出人本人に係る情報の開示に関する相談を受けたときは、保有個人情報開示手続の教示を行うことが適切である場合がある。

* 窓口において想定される質問事項について *

Q1 司法行政文書開示手続の際に、必要なものは何か。

A1 開示申出書の提出が必要です。

開示申出書には、①開示申出人の氏名及び連絡先、②開示を申し出る司法行政文書の名称等司法行政文書を特定するに足りる事項を記載し、開示を申し出る裁判所の総務課（最高裁においては秘書課）に提出してください（取扱要綱記第7の1、第6）。

開示申出書の書式は、裁判所のウェブサイトにも掲載しています。

Q2 開示してほしい文書の名称が分からないときには、どうすればいいか。

A2 必ずしも文書の正式な名称を記載していただく必要はありませんが、申出をされる文書と他の文書が区別できるように、記録されている情報の概要、作成時期等の情報を適宜組み合わせて、できるだけ具体的に記載してください。

また、申出をされた後でも、職員が対象文書の特定のために必要な情報をお尋ねする場合があります。

→4頁総論編3「開示対象文書の特定」参照

Q3 司法行政文書開示手続にかかる費用を知りたい。

A3 司法行政文書開示手続では、手数料を徴収することはしていません。ただし、対象文書の写しを求める場合は、コピー代等の実費をお支払いいただくことになります。

→29頁総論編11「開示の実施等について」参照

Q4 司法行政文書の開示の申出をした場合、すぐに開示してもらえるか。

A4 原則として30日以内に開示・不開示の判断を行いますが、文書の探索や不開示部分の検討などに時間を要する場合には、さらにお時間をいただく場合があります。その場合は、開示期限の延長のお知らせをします。

Q5 開示はどのような形で行われるのか。

A5 対象文書の閲覧又は謄写をすることができます。

なお、電磁的記録について、USBメモリ等の記録媒体への複写はできませんので、予めご了承ください。

→29頁総論編11「開示の実施等について」参照

Q6 司法行政文書の開示の申出を行えば、裁判所が保有している情報を整理して開示してもらえるのか。

A6 司法行政文書開示手続は、裁判所が保有する司法行政文書を、あるがままの状態を開示する手続であり、裁判所が保有する情報を整理してご提供する手続ではありませんので、必ずしもご要望にはお応えできない場合があります。
→30頁総論編12「開示に代わる情報の提供と便宜供与としての情報提供」参照

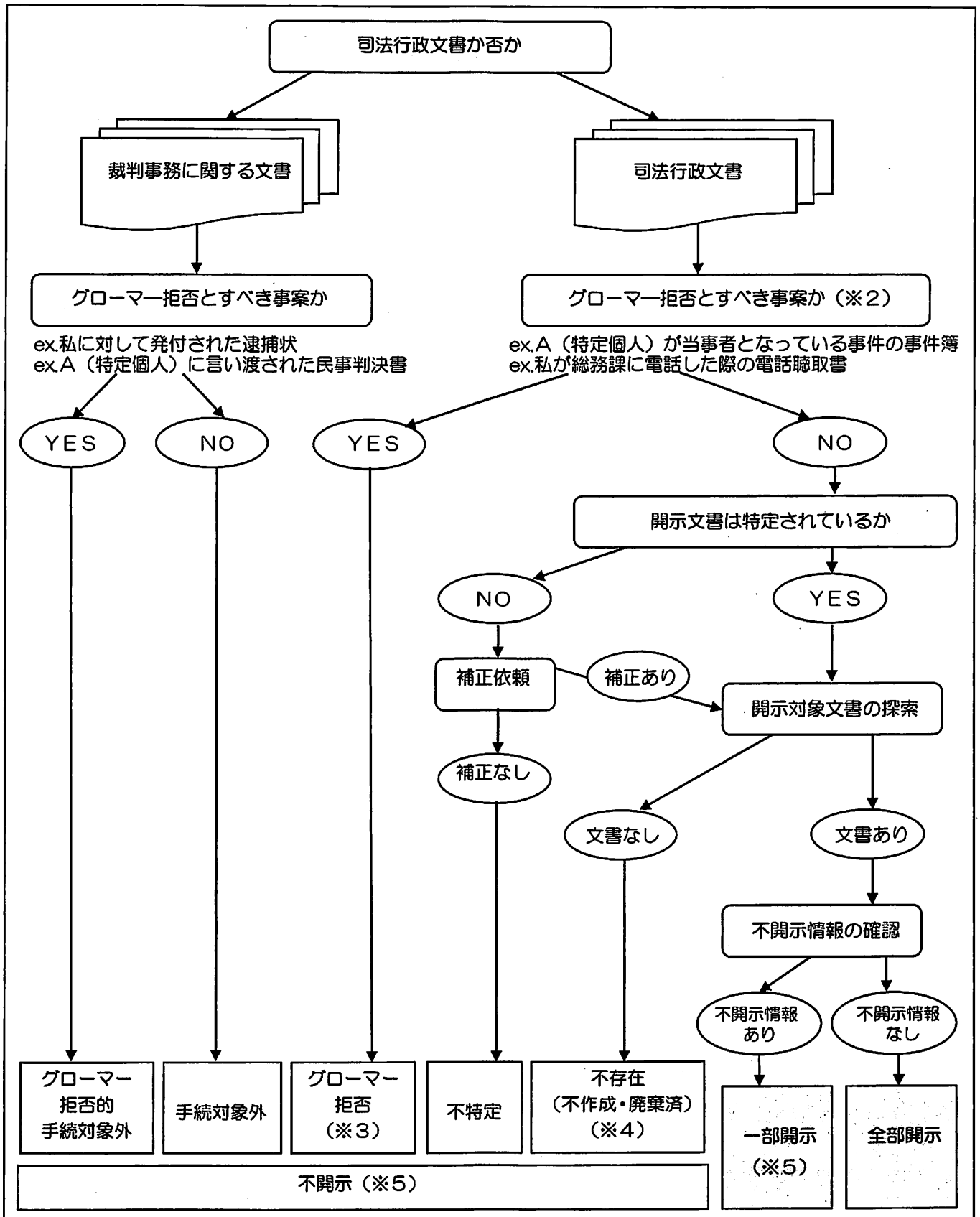
Q7 訴訟記録について、司法行政文書開示手続を行いたい。

A7 司法行政文書開示手続の対象となるのは、裁判所が保有する司法行政事務に関する文書（司法行政文書）ですので、裁判事務に関する文書である訴訟記録については、対象となりません。
→1頁総論編1「司法行政文書」参照
なお、訴訟記録については、訴訟法による閲覧・謄写ができるものもあります。詳細については、訟廷事務室職員がご説明します。

Q8 司法行政文書開示手続により、私に関する訴訟事件についての司法行政文書を開示してもらえるのか。

A8 あなた自身に関する情報の開示をお求めの場合は、司法行政文書開示手続よりも、保有個人情報開示手続の方が適切な場合があります。
→20頁総論編8「グロマー拒否」参照
ただし、保有個人情報開示手続によっても、刑事事件や少年の保護事件に係る裁判等に関する情報については、高度のプライバシーに係る情報であるため、開示できません（平成27年7月1日から実施の「裁判所が司法行政事務に関して保有する個人情報の取扱要綱」記第9の1，行政機関個人情報保護法45条1項参照）。
保有個人情報の開示申出には、開示申出書を提出していただくほか、免許証等の本人確認書類の提示・提出をしていただく必要があります。

*** 司法行政文書開示手続フローチャート* (※1)**



- ※1 このフローチャートは一般的なフローであり、個別の申出内容によっては、これに当てはまらないものもあり得る。
- ※2 開示対象文書を特定した後に、グロマー拒否の検討を要する場合もある。
- ※3 補正を促し、保有個人情報の開示申出に補正させることが望ましい場合もあることに留意する（20頁総論編8を参照）。
- ※4 文書が存在しない場合としては、①文書を作成又は取得していない場合、②文書を作成又は取得した後に廃棄した場合、③短期保有文書として作成又は取得する可能性がある文書で、短期保有文書については保存や廃棄の記録がないことにより、そもそも作成又は取得していないのか、作成又は取得した後に廃棄されたのか判断としない場合がある。
- ※5 （不）開示通知書への不開示の理由の記載例は、22頁総論編9を参照